



ベーシックガバナンスチェックのご案内

ガバナンスの『健康診断』を
受けてみませんか？

全ての基準を
満たしています。



JCNE

非営利組織評価センター
JAPAN CENTER FOR NPO EVALUATION

(一財) 非営利組織評価センター (JCNE)

2016年4月1日設立

役員等：評議員7名 理事8名 監事2名

スタッフ：常勤4名 非常勤1名

現在は、日本財団の助成金で運用

非営利組織の
第三者組織評価機関
として設立

目的

社会に対して、客観的かつ信頼性のある組織評価情報を提供し、非営利組織の信頼性向上を目指し、さまざまな支援がNPO等が届く仕組みをつくる

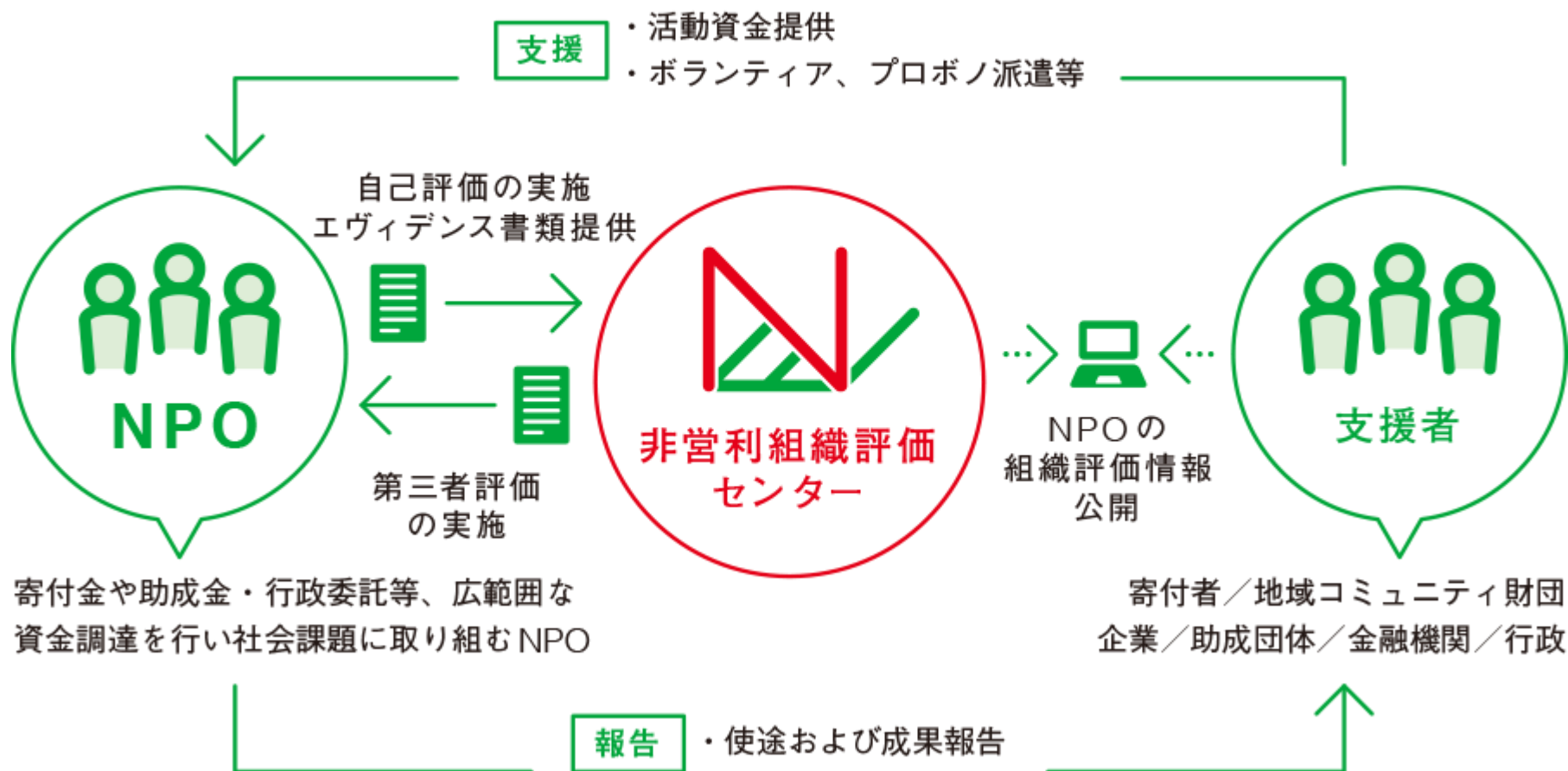
組織の特徴

- ・全国レベル、分野共通の非営利組織の評価機関の設立は初の試み
- ・グッドガバナンス認証制度、ベーシックガバナンスチェック制度の2種類の制度を運用

<https://jcne.or.jp/>

第三者評価制度の仕組みと活用

〔第三者評価制度の仕組みと活用〕



事業や組織
運営のガバ
ナンス全般

グッドガバ
ナンス認証

訪問での
ヒアリング

提出された
書面

アド
バンス
評価
27
基準

全基準を
満たすと
認証付与

◆グッドガバナンス認証（アドバンス評価基準）

<https://jcne.or.jp/wp-content/themes/jcne2/assets/gg-list.pdf>

法令や定款
通りのガバ
ナンスの基
本

ベーシック
ガバナンス
チェック

提出された
書面

セルフ
チェック

ベー
シック
評価
23
基準

評価結果を
サイトで
公開

◆ベーシックガバナンスチェック（ベーシック評価基準）

<https://jcne.or.jp/evaluation/outline/>

評価を受ける側（NPO法人や一般法人等）

組織運営の
『健康診断』

ガバナンスの
改善

信頼性の
向上

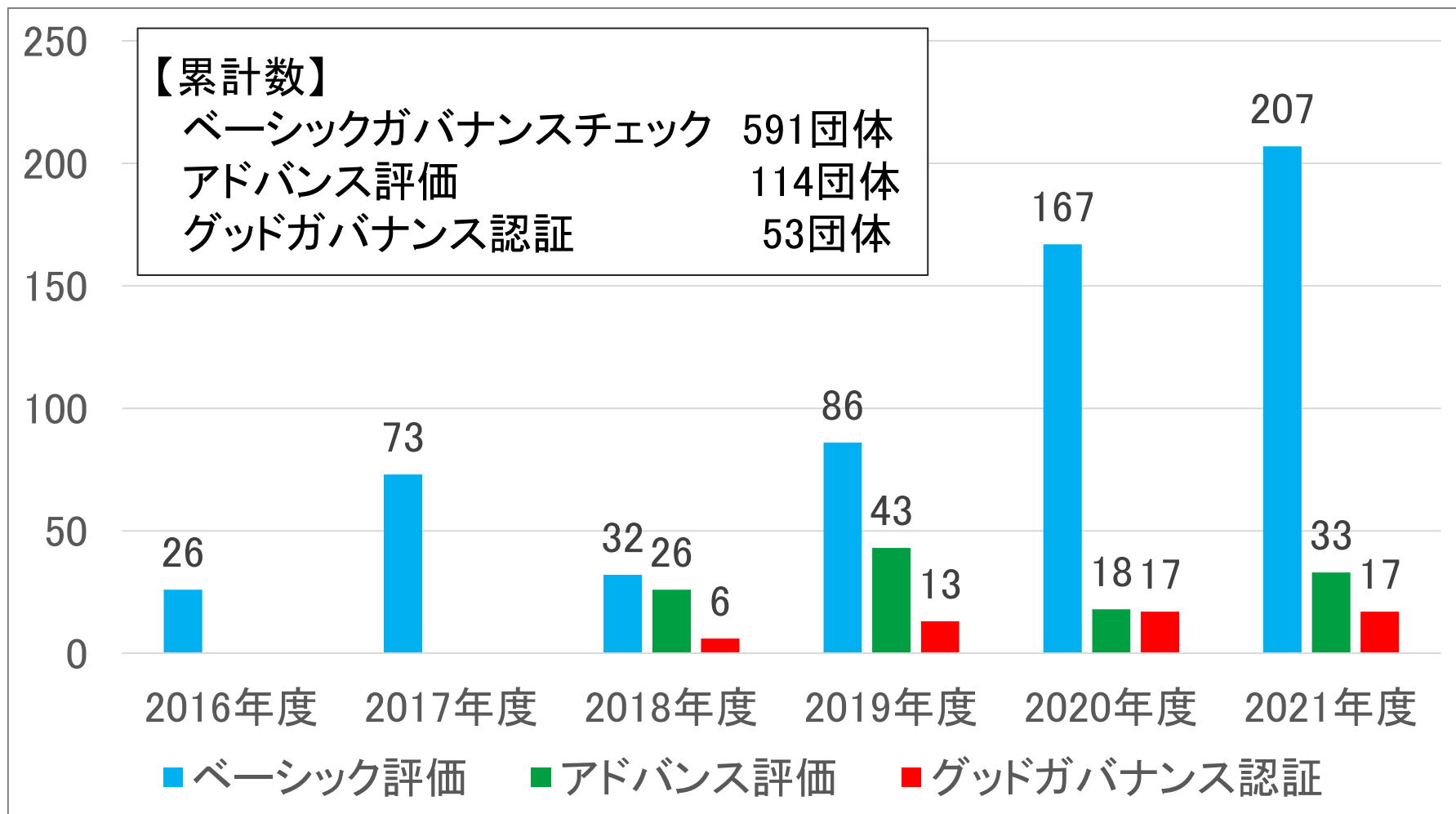
評価を活用する側（助成財団や企業等）

審査の
参考情報

助成先団体の
基盤強化

★組織運営の健全性（ガバナンス）が求められる時代に

組織評価の実績(2016～2021年度)



NPOにとっての組織評価の効能

- 【ポイント1】 組織評価は、不足や不備を発見するための「健康診断」（ランクや成績を付けるためのものではない）
- 【ポイント2】 自己評価での気づきと評価結果のフィードバックから、組織運営の改善とガバナンス意識の向上
- 【ポイント3】 第三者評価を受けていることによる信用・信頼の獲得

★組織評価は、組織運営の改善を行い、基盤強化を図るもの。あわせて、信頼性をアピールできる。



ガバナンスの必要性

- 今、あらゆる組織で「ガバナンス」が求められている。
 - ①外部からの期待や信頼
 - ②継続的な組織運営のために
 - ③地域で必要とされている活動が続けていくために
 - ガバナンスは日本語で「統治・支配・管理」という意味。団体自身が団体を自律的に運営していくための仕組み（企業ではコントロールというニュアンスも）。
 - 管理のためのガバナンスから、ミッション達成のためのガバナンスへ。
- ★「ガバナンス」は組織運営に必要不可欠なもの。
ガバナンスの状態をチェックする機会をつくる。



ベーシックガバナンスチェック制度

ベーシック評価基準23項目に基づく簡易的な組織評価です。

非営利組織の組織運営について、法令・定款に基づいた基本的なガバナンスが適切に行われているかどうかを評価するものです。結果はベーシックガバナンスチェックリスト (<https://jcne.or.jp/org/>) で公開され、継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体であることを社会へアピールできます。

【対象法人】 特定非営利活動法人（認定を含む）

一般社団・財団法人（非営利型・理事会設置型）

公益社団・財団法人、社会福祉法人

【費 用】 普及期間のため無料で提供

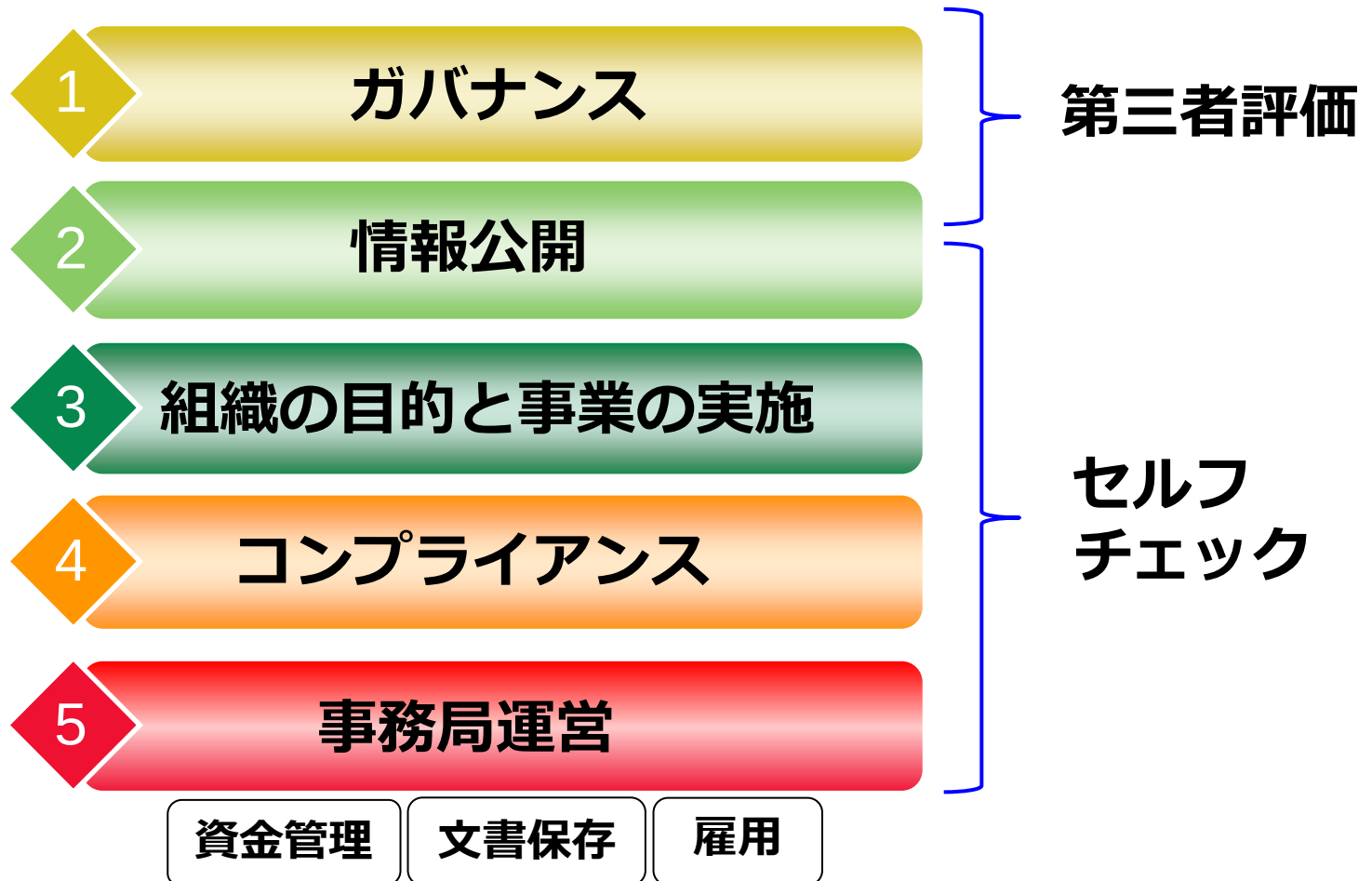
【評価有効期間】 3年間（更新制）

- 評価手法：自己評価結果に基づいた書面評価
 - (1)団体によるセルフチェック（実施の有無で判断できる項目）
 - (2)提出書類による書面評価（専門知識が必要な第三者評価）

- 評価基準：23項目（雇用がない場合20項目）
 - ① 法律や定款通りの運営という基礎部分を評価
 - ② 分野/事業内容・組織規模を問わない評価基準
 - ③ 「はい」「いいえ」で答えられる基準
 - ④ 書面で第三者が確認できる内容
 - ⑤ 第三者評価8基準、セルフチェック15基準

ベーシックガバナンスチェックの評価分野

- 評価の5分野：社会へ自己アピールしづらいものを対象



ガバナンス

- 1 法令および定款に則って代表者および役員（理事3人以上、監事1人以上）を選任または解任している。
- 2 定款に基づく役員会（理事会、運営委員会等）を年に2回以上開催している。
- 3 社員総会（評議員会）を年に1回以上、実際に開催している。
- 4 役員会および社員総会（評議員会）の議事録を定款および法令に基づいて作成している。
- 5 1事業年度において、役員会（理事会、運営委員会等）または社員総会（評議員会）で、法令および定款で定める事項の他、以下の内容の審議を行っている。
 - ①事業計画・予算計画・事業報告・決算報告
 - ②役員の報酬に関する規程
- 6 監事は監査を行っている。
- 7 直近の登記事項を登記している。

情報公開

- 8 法令で定められた書類を事務所に備え置き、閲覧可能な状態にあるとともに定款、役員名簿、事業計画、事業報告書、会計報告書類、役員報酬をウェブサイト上で公開している。

情報公開

- 9 組織の所在地および問い合わせ方法をウェブサイト上で公開している。
- 10 寄付者・支援者等に事業の成果を報告している。

組織の目的と事業の実施

- 11 組織の目的と事業を文書化している。
- 12 非営利型法人である。
- 13 組織の目的に沿った単年度事業計画を策定している。
- 14 事業の対象となる社会的ニーズや課題を多様な関係者からくみ取る仕組みがある。
- 15 各事業の定期的な振り返りや見直しを行っている。

コンプライアンス

- 16 税金を滞納していない。
- 17 個人情報保護に関する規程を定め、取得目的を明示している。

ベーシック評価基準（セルフチェック基準）

事務局運営

- 18 会計に関する専門知識をもった担当者またはアドバイザーがいる。
- 19 現金の取扱い・資金管理に関して複数人によるチェック体制がある。
- 20 法定保存文書の保存をしている。
- 21 雇用契約書等で雇用条件の提示を行っている。※
- 22 職員の就業状況を把握し、管理している。※
- 23 労働保険に加入している。※

※雇用がある場合

- 第三者評価基準（１～８）については、団体より提出された書類に基づき、非営利組織評価センターが第三者評価機関として評価を行う。
- セルフチェック基準（９～２３）については、団体自らが基準を満たしているかどうかを、実施の有無で判断できる項目となっている。



◎実際に組織評価を受けた団体の感想より

セルフチェックにより組織運営において必要なポイントを確認することができ、第三者評価により自組織に不足しているポイントを知ることができ非常にありがたかったです。【認定NPO法人 心の架け橋いわて】

初めてのことでしたので、最初は難しいと感じましたが質問に対して迅速かつご丁寧な回答を頂く事ができてとても有難かったです。正しい運営を心掛けていても、具体的に何をしたらいいのか分からない事も多かったので、今回ベーシックガバナンスチェックを受けさせて頂く事ができた事は、今後の法人運営を行うにあたってとてもいい機会となりました。ありがとうございました。【NPO法人 心魂プロジェクト】

◎組織評価情報の活用

- ① 評価結果をもとに不足や不備がある項目を改善する。
- ② 助成金申請で組織評価の実績をアピールする。
- ③ ホームページで評価を受けたことを掲載し、信頼性をアピールする。

助成金での活用①

- 助成金申請書で「組織評価」の有無を確認
- 審査の参考情報や加点ポイントに
- 助成機関 計11機関 27プログラム
三菱財団／地球環境基金／麒麟福祉財団／
SOMPO福祉財団／トヨタ財団／日本財団／
日本民間公益活動連携機構（JANPIA）／
日本郵便／ベネッセこども基金／
ふるさと島根定住財団／ヤマト福祉財団

<https://jcne.or.jp/banner-npo/>



助成金での活用（その他）②

- 助成決定した団体に対して、ベーシックガバナンスチェックの受診を条件にしたり、促しているケース
- 助成先団体のガバナンス状況のチェックと、ガバナンスの整備を目的とする
- この取り組みを導入している助成機関等 7団体
 - ベネッセこども基金／日本財団／
 - モバイル・コミュニケーション・ファンド／
 - 日興アセットマネジメント株式会社
 - （ゲノムファンド活用プログラム 2020）／
 - 中国5県コンソーシアム（休眠預金）／
 - 宮崎文化本舗（休眠預金）／SINKa（休眠預金）

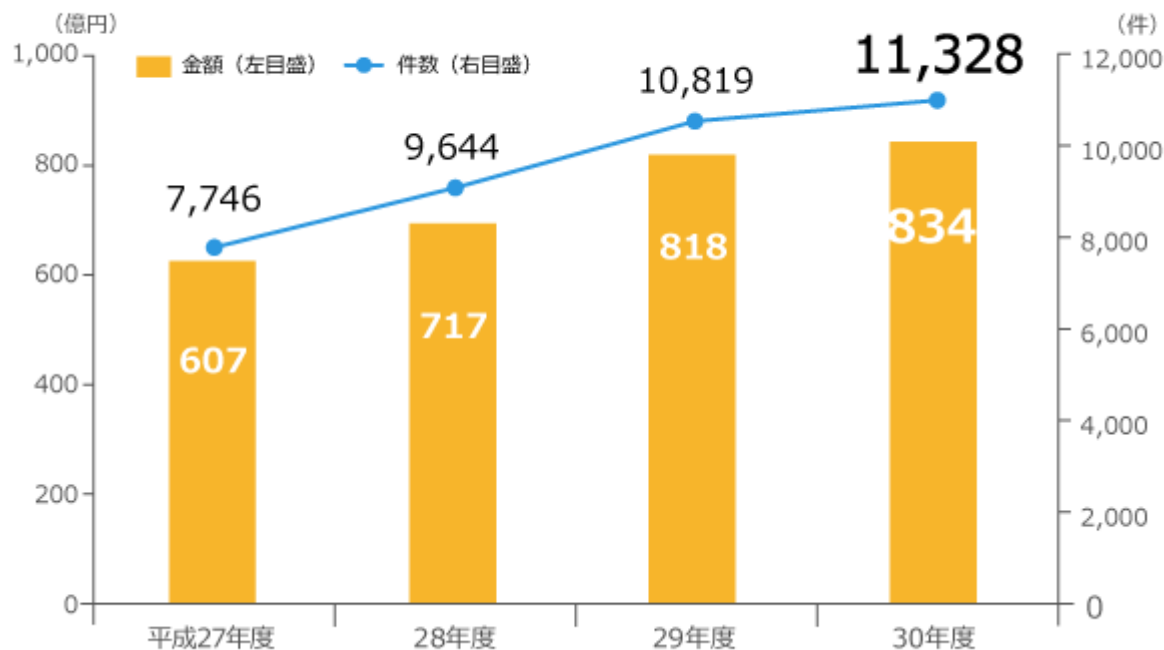


日本政策金融公庫での活用

ソーシャルビジネス支援資金（融資）

- 融資を申し込む際に認証や組織評価情報が「信頼の証し」に
- 日本政策金融公庫の本部より、NPO法人等への融資に際して、「グッドガバナンス認証の取得等を審査情報として活用するように」というお達しあり！

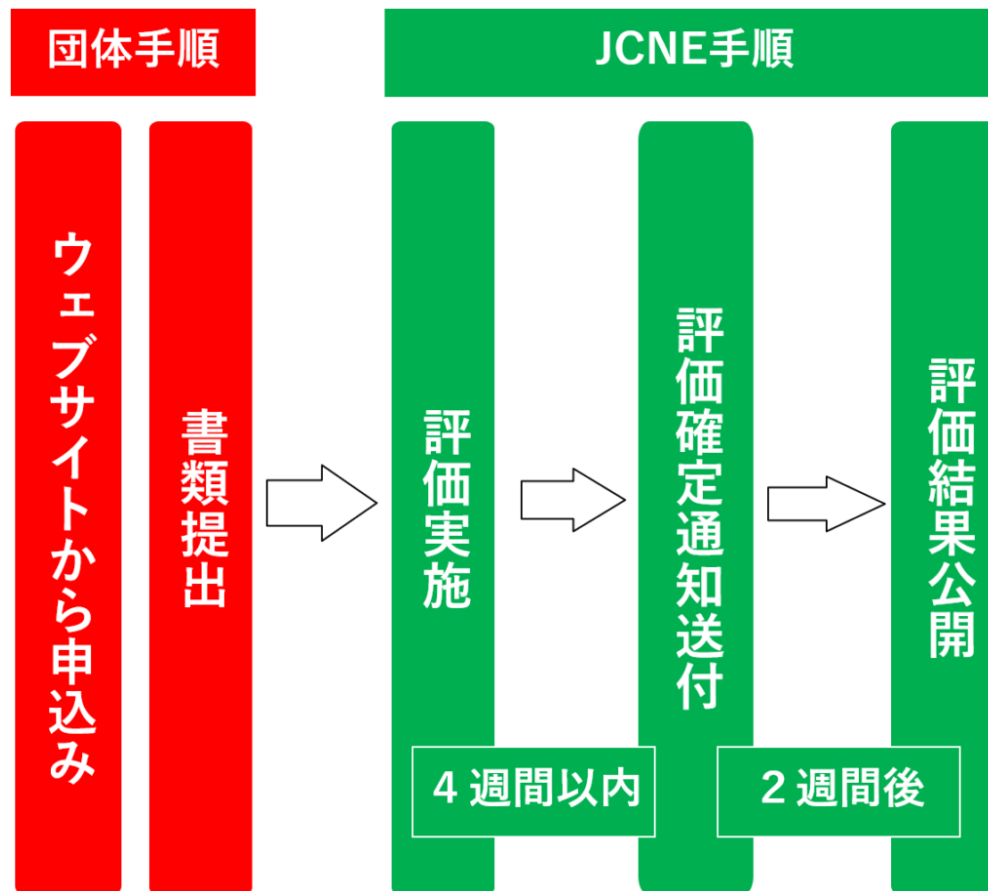
● ソーシャルビジネス関連の融資実績の推移



日本政策金融公庫HPより
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/social/yushi.html>



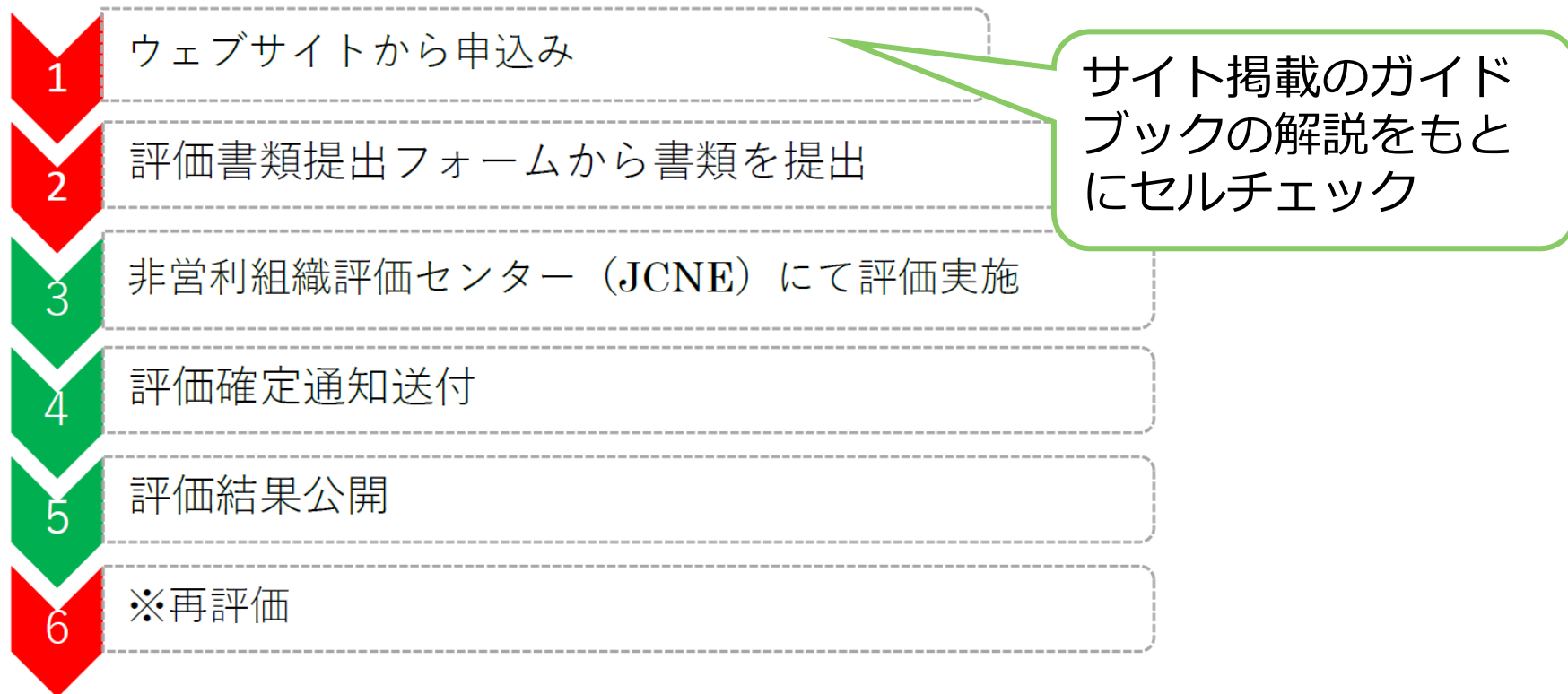
評価の流れ（お申込みページ）



【提出書類】

定款／理事会及び総会（評議員会）の議事録（2年分）／監査報告書／
役員報酬規程／役員名簿／事業計画／予算／事業報告書／決算書類

ベーシックガバナンスチェック



お申込みページは以下のURLとなります。

詳しいガイドブックを掲載しています。

https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/





第三者組織評価への
取り組みをお待ちしています。

<http://jcne.or.jp>

非営利組織評価センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目1 1-2 日本財団第二ビル3階

TEL 03-6457-9721 (平日9:30より17:30)

FAX 03-6457-9722

Mail office@jcne.or.jp



グッドガバナンス認証

アドバンス 評価

活動・組織運営のプロセスが
しっかり出来ているか？

【評価基準】

- ・ 27基準

【評価手法】

- ・ 提出書類による書面評価
- ・ 評価員が訪問する訪問評価
(2名で3時間ヒアリング)

グッドガバ ナンス認証

アドバンス評価のすべての
基準を満たしている団体を
対象に認証審査

【認証審査委員会】

- ・ 外部有識者による審査



グッドガバナンス認証



- 対象法人：NPO法人（認定を含む）
 - 一般社団・財団法人（非営利型）
 - 公益社団・財団法人
 - 社会福祉法人
- 評価手法：書面評価と訪問評価
- 評価基準：27項目（適用除外可能なもの6項目）
 - ①分野/事業内容・組織規模を問わない評価基準
 - ②事前の書面評価と3時間の訪問調査の構成
- 更新期間：3年間
- 費用：普及期間のため、評価料・認証料無料

アドバンス評価項目の構成

領域	項目（評価基準数）		
Ⅰ．学びと創造	項目 1	受益者本位の視点によるニーズの把握と改善	(2)
	項目 2	課題の共有と改善・創意工夫、及び人材の育成	(3)
	項目 3	社会への情報発信と啓発活動	(2)
Ⅱ．市民参加と連携・協働	項目 4	市民参加	(1)
	項目 5	連携・協働	(3)
	項目 6	寄付	(2)
Ⅲ．社会的責任と信頼	項目 7	人権尊重と環境への配慮	(2)
	項目 8	コンプライアンス	(2)
Ⅳ．自立と自律	項目 9	事業運営	(3)
	項目 1 0	リスクの管理	(1)
	項目 1 1	ガバナンス	(4)
	項目 1 2	財務と会計	(2)
4領域	12項目		27



- 団体事務所をグッドガバナンス評価員1名と評価員補佐（JCNE事務局）1名で訪問して、評価を実施します。

新型コロナの影響で、
当面はオンラインで実施



- グッドガバナンス評価員とは？

定義：JCNEの評価員研修を受講し、JCNEのグッドガバナンス認証制度を運用するために評価基準を理解し、公正な評価業務を行う者として、評価員として登録された者。

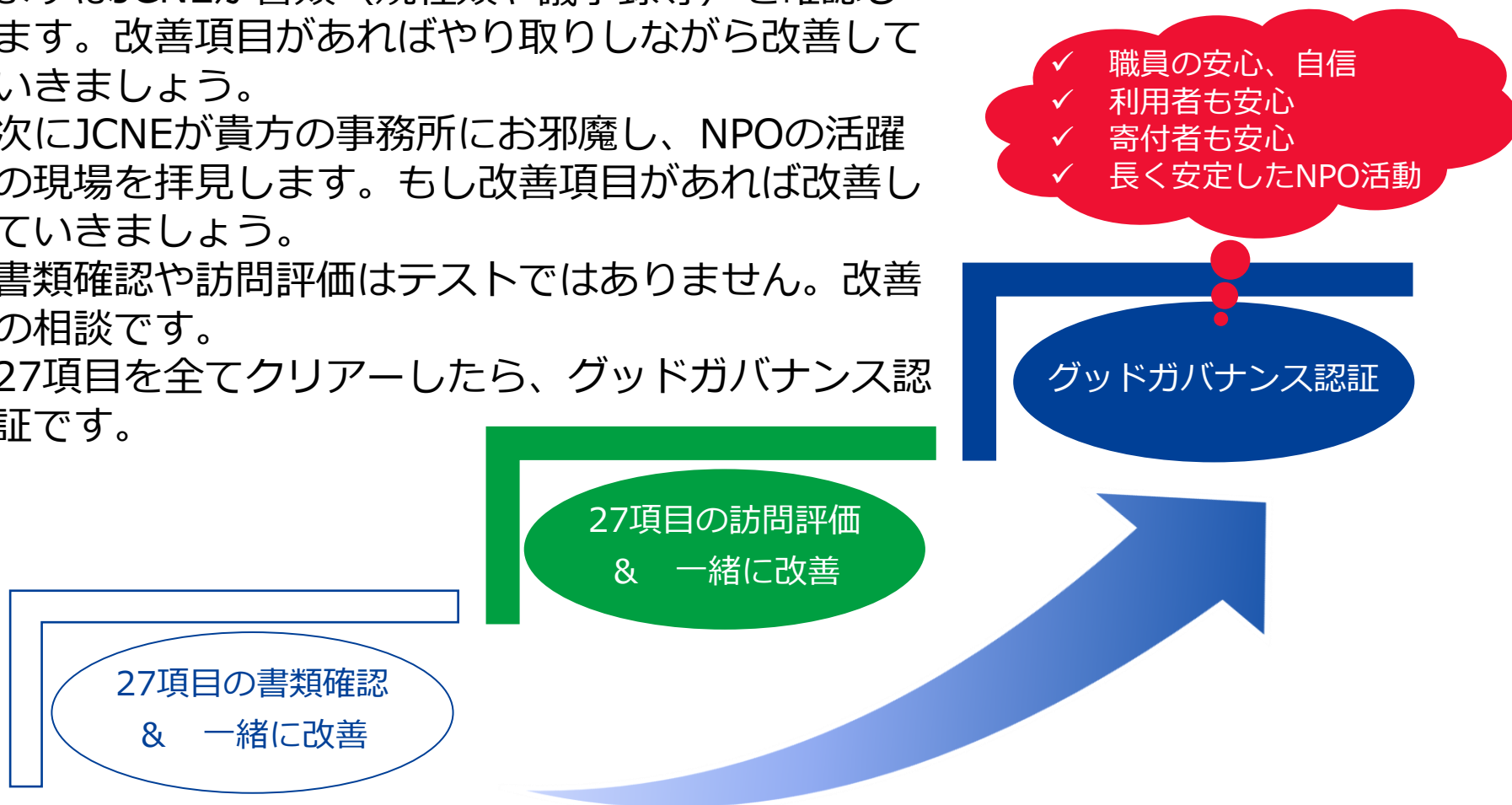
対象者：NPOセンター関係者、助成財団等を含む中間支援組織関係者、NPOの役員や事務局長経験者、NPO関連の士業関係者やコンサルタントなど

特に組織評価を受けてもらいたい団体

- ① ガバナンスやコンプライアンスについて、じっくり考える機会がなかった団体
- ② これまでに外部のサポート（第三者の視点）を受けたことがない団体
- ③ 事業規模が拡大し、組織基盤が追いついていない団体
- ④ 組織の中でガバナンス意識を高めたいと考えている団体
- ⑤ 組織の見直しや世代交代を行いたいと考えている団体
- ⑥ これから組織基盤を整備していきたい成長期の団体
- ⑦ 組織運営の視点でスタッフの人材育成を行いたい団体

約半年～1年、一緒に少しずつ山を登りませんか？

- NPOの信頼性を担保する27項目を、JCNEは厳選しました。
- まずはJCNEが書類（規程類や議事録等）を確認します。改善項目があればやり取りしながら改善していきましょう。
- 次にJCNEが貴方の事務所にお邪魔し、NPOの活躍の現場を拝見します。もし改善項目があれば改善していきましょう。
- 書類確認や訪問評価はテストではありません。改善の相談です。
- 27項目を全てクリアしたら、グッドガバナンス認証です。



グッドガバナンス認証のスケジュール

★ JCNE担当より、オンラインで個別セッション（説明）

※事務局までご一報ください。

お申し込み後の流れ

- ① 評価に関する事前説明とヒアリング（オンラインで2時間）
- ② 団体による自己評価と提出書類の準備
- ③ JCNEによる書面評価の実施
- ④ JCNEによる訪問評価の実施（オンラインで2時間）
- ⑤ JCNEから評価結果のフィードバック
- ⑥ 認証取得までJCNEでフォローアップ

※⑤まで2～3カ月の期間です。

※評価料・認証料、サポート費用は普及期間のため無料